区政を聞く一般質問（要旨）

詳しい内容は、会議録（８月中旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所３階）、図書館などでご覧になれます。

葛飾区議会公明党

ICT化による業務効率化と依存症対策の普及啓発を

介護分野のICT化促進

問 介護現場の負担軽減のために、厚生労働省が進める「ケアプランデータ連携システム」を積極的に進める必要があると考えるがどうか。また推進するに当たり、本区において引き続き介護現場の負担軽減を図るために、システム導入へのサポートや不安解消などの課題解決につながる仕組みの構築も希望するが、区の考えを伺う。

答 厚生労働省はケアプランデータ連携システムを推進するため、キャンペーンを開始したところである。本区でもこのシステムを周知するとともに、このシステムを活用して業務改善に取り組む事業者に対してコンサルタント費用や研修費用を助成し、より効果的かつ効率的な職場環境の整備につなげていく。今後もシステム活用を含め、介護事業所のICT化を支援し、介護現場の負担軽減に向けて取り組んでいく。

※他の質問項目　介護人材雇用促進事業の実績と成果、今後の課題　など

ギャンブル等依存症対策

問 ギャンブル等依存症問題啓発週間に合わせた図書館での展示コーナーの継続とともに、広く区民を対象とした講演会を実施してはどうか、考えを伺う。また、本区の施設で実施しているギャンブル依存症に関する講演会や相談会を保健所が周知し、さらなる普及啓発に取り組む必要があると思うが区の考えを伺う。

答 来年5月の啓発週間に向け、広く区民を対象とした講演会を図書館などで実施できるよう検討し、その際には、啓発のためのポスター展示も実施していく。また、ギャンブル依存症の支援団体が本区の施設で実施している講演会については、現在、実施団体のリンク先を区公式ホームページに掲載している。今後、講演会の日時や内容についても区公式ホームページやSNSで紹介するなど、さらなる普及啓発に努めていく。

※他の質問項目　保護者や児童・生徒に対する啓発　など

ギャンブル等依存症問題啓発ポスター

障害者スポーツの普及啓発

問 障害のある方の運動やスポーツの機会の拡大、継続を後押しするために、足立区の「障がい者スポーツ活動助成金」のように、本区としての障害者スポーツ活動の支援策を具体的に検討していただきたいと思うが、区の考えを伺う。

答 お話の助成制度は、障害者がスポーツを行う上での経済的負担を軽減することにより、スポーツに親しむ機会の拡大や活動の継続を図る効果が期待できる一方で、対象とする経費の範囲やスポーツ活動への参加促進とのつながりを慎重に検討する必要があると考えている。今後、他の自治体の事例も参考にしながら、障害者のスポーツ活動に対する効果的な支援策について、検討を進めていく。

※他の質問項目　ユニバーサルスポーツの普及　など

人と動物との共生社会の推進

問 本区が実施している「ペットの防災教室」を、避難所の「ペットの管理ボランティア」を認定するカリキュラムに充実させるなどし、災害時に避難所において飼い主と共に適切にペットの飼育・管理の手助けなどを行う「ペット管理ボランティア」の認定をしてはどうか。

答 避難所では、ペットの飼育ができるスペースを設け、基本的な飼育ルールを定め、原則として飼い主の責任でペットの飼育管理が行われる。そのため、基礎的な知識を有する「ペット管理ボランティア」が、ペットを連れてきた避難者の登録や飼育スペースの清掃などの管理を飼い主と協働で行うことは、円滑な避難所運営に有効であると考える。今後、先行自治体の取り組みを参考に「ペット管理ボランティア」の要件や活動内容、認定方法などを整理し、避難所運営に協力していただけるよう取り組んでいく。実施に当たっては、ペットの防災教室のカリキュラムの充実も含め検討していく。また、ペットと一緒に避難する「同行避難」や避難所での適切な飼育を行える体制づくりも進めていく。

※他の質問項目　「アニマルフェスティバル」の検討状況　など

他の質問件名　父親の産後うつ対策

子育て世帯、多世代近居同居の定住促進策

かつしか区民連合

区の責任を改めて確認し、誰一人取り残さない区政実現を

公文書管理と行政運営

問 政策決定過程の資料が残されていないとも受け止められる状況が伺える組織的に使用するために作成されたものを公文書と位置付けるとされるが、記録すべき情報の範囲を改めて確認する。

答 公文書等管理条例第4条において、実施機関の職員は、意思決定に至る過程ならびに事務および事業の実績を合理的に跡付け、または検証することができるよう、公文書を作成しなければならないと規定している。本条例の趣旨にのっとり、区民に説明する責務を全うするため適切に公文書を作成し、必要な事項を記載していく。

※他の質問項目　区史編さん体制の検討状況　など

障害の相談窓口と精神包括支援

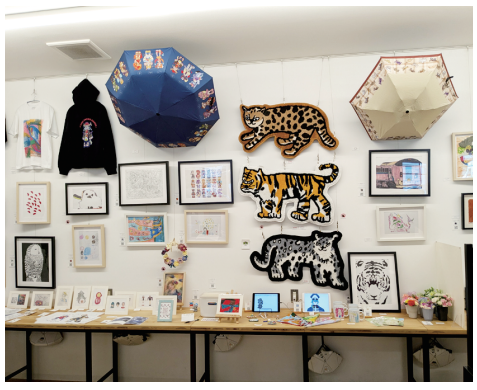
問 過去に新庁舎で精神障害（疾患）も含めた窓口も設けるとの答弁もあったが、三障害の総合的な相談窓口について進捗状況を伺う。

答 保健所、保健センターだけでなく新庁舎でも精神障害の事務手続きができるよう窓口を設ける予定である。窓口と保健センターとのスムーズな連携が課題であると考えており、プロジェクトチームで課題解決に向けて協議していく。また、現庁舎についても導入可能なものについて検討していく。

※他の質問項目　ケアラー支援条例制定の検討　など

アートカルチャー基本方針に基づく文化芸術振興政策

問 他自治体ではまちづくりの中にアートを組み込んだり、B型就労施設などで障害者の作品をデザイナーと結びつけ、製品化するなど他分野との連携を進めている事例がある。各分野でアートを広げていくためには、幅広い情報取集や事例共有、情報発信、相談体制の整備などが必要だがどうか。


B型就労施設のアート作品

答 かつしかアート・カルチャー基本方針の策定に当たり実施した調査では、イベントでの地域や商店街との連携を要望する意見が多く集まる結果となった。今後、具体的な相談をいただいた際に対応できるよう関係所管課と連携し、適切な相談体制を構築していく。

※他の質問項目　川甚の文化的資料の管理・保存状況　など

災害対策の推進

問 災害時の備蓄について区全体の地域ごとの人口割合や被害想定に対応した整備も求められると考えるが本区の課題認識と方向性を伺う。

答 本区の輸送を含めた備蓄の考え方は、河川などの分断要素により区内を4地区に分け、食料や生活必需品を各地区の学校および拠点倉庫に備蓄することを基本としている。各避難所に物資が速やかに届けられる体制の構築を目指し、輸送や倉庫業を担う事業者などと応急対策連絡会での検討を進めている。

※他の質問項目　避難所での合理的配慮　など

生涯学習の支援とコミュニティ・スクール

問 学びを支えるために社会教育主事の重要性が指摘されているが、教育委員会に必置とされている社会教育主事の状況を伺う。

答 本区では、社会教育主事を生涯学習課に2名配置している。学びを支える支援者としての役割を担えるよう、現状の執行体制を維持するとともに、学びの循環を実現するため、将来的なニーズを踏まえた執行体制についても検討していく。

※他の質問項目　PTAへの支援の在り方　など

日本共産党葛飾区議会議員団

物価高騰から国民生活を守れ税金は区民のために使う区政へ

物価高騰で区が行うべき支援

問 「増税による税収は全て区民に還元せよ」の立場から、区独自の給付金支給を求めるがどうか。

答 社会経済状況の動向に注視しつつ、必要な物価高騰対策について検討していく。

問 区内事業者の事業継続のために実施してきた中小企業向けの支援金の規模を拡大し、給付額も増額して実施してはどうか。

答 現時点で支援金の規模や給付額を拡大して実施する考えはないが、社会経済情勢を注視し、さまざまな角度から必要な支援を行っていく。

※他の質問項目　住宅問題　など

医療、介護

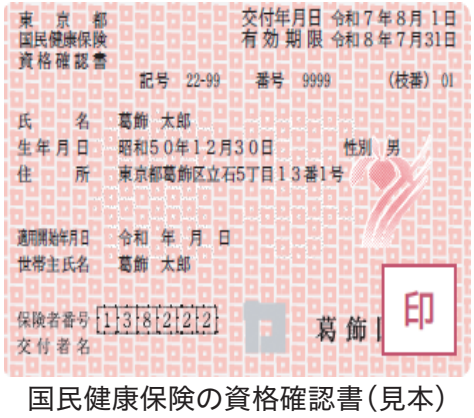
問 マイナ保険証を持っていても保険者の責任で全員に資格確認書を交付すべきと思うがどうか。

答 現時点で国民健康保険被保険者全員を対象に資格確認書を交付することは考えていない。

問 いつでも、どこでも、誰でも安心して医療を受けられることが、国民皆保険制度の根幹である。従来の保険証を残すよう国に求めるべきではないか。

答 保険証を改めて発行できるよう国に求めることは考えていない。

※他の質問項目　本区の介護の現状　など



国民健康保険の資格確認書（見本）

学校外プールを活用した水泳指導

問 拠点校を選定して屋内温水プールを整備し、共同利用を検討してはどうか。

答 拠点として整備する屋内温水プール

本会議の模様は、葛飾区議会公式サイトでご覧いただくことができます。

区政を聞く一般質問（要旨）

詳しい内容は、会議録（８月中旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所３階）、図書館などでご覧になれます。

は複数の学校が利用するため、一定の施設規模が必要であり、移動に伴うバスの駐車スペースも必要であることから学校外に整備を行う。

※他の質問項目　学校プール管理の負担軽減　など

立石駅再開発と庁舎保留床

問 立石駅北口再開発が立石の街のにぎわいに影響を及ぼした。連続的な再開発の強行は、地域に重大な悪影響を及ぼす。立石駅南口の再開発計画についても抜本的な見直しが必要ではないか。

答 現在のところ再開発計画の抜本的な見直しを求める考えはない。

問 立石駅北口再開発組合の全体工事費は、物価高騰の影響により現段階の１千280億円を上回るのではないか。

答 物価などの上昇は続いているため、現在示している令和7年2月時点の事業費額を上回る可能性は否めないという認識である。

※他の質問項目　特別区債の発行　など

バルサアカデミー葛飾校について

問 区議会の決議では区長を先頭にした調査を求めていたが、区長は総務部に調査をさせ、報告しようとしている。第三者委員会を設置して調査すべきと思うがどうか。

答 総務部において適正に調査しているが、今後の対応については、区議会の意見を聞きながら検討していく。

※他の質問項目　協定の在り方の問題など

みらい葛飾（生活者ネット・無所属）

バルサアカデミー葛飾校の事業譲渡契約書

問 事業譲渡契約書について、文教委員会や全員協議会での内容説明を踏まえると、事業譲渡金や業務委託費は「グラウンド確保および区との連携業務」に対する対価であると考えるのが自然だが、区の認識を伺う。

答 事業譲渡契約書では、事業譲渡すると記載があるのみで事業の内訳などについての記載はない。

※他の質問項目　第三者委員会の設置など

副区長の辞任と区長の責任

問 一連の問題を受け、区政運営の混乱を招いたことや副区長の任命責任など、区長の責任が厳しく問われる事態だが、区の最高責任者として、区長はどう責任を取るのか。

答 一連の問題については、区長として責任を痛感している。警察の捜査対象となったことなど、疑念を招いたことについて真摯に向き合い、質問にはその都度適切に対応していく。

※他の質問項目　副区長の辞任理由など

地域共生社会実現への取組と防災・福祉分野の多様性

東京2025デフリンピックを控えた取組

問 デフリンピックの成果を一過性のものにしないため、区が長期的に掲げる「地域共生社会ビジョン」ではどのように位置付けていくのか。

答 地域共生社会実現のためには、障害のある方への配慮が広く地域で実践されることが重要である。これを契機に、障害のある方との交流についてさらに取り組みを進め、障害者を含めた地域共生社会を推進していく。

デフリンピックPRイベント

※他の質問項目　取り組み状況　など

防災・福祉分野における多様性に対する取組

問 避難所開設・運営訓練の中で、多様な立場の当事者が参加できる仕組みづくりが必要だと考えるが、区の取り組み状況を伺う。

答 これまでもさまざまな避難者を想定し、訓練などを実施している。引き続き多様な立場の方の要望を避難所運営に生かす仕組みづくりに向け、関係各課と連携して取り組んでいく。

※他の質問項目　施設整備状況　など

他の質問件名　「全国みどりと花のフェアかつしか」の取組、こち亀記念館を軸にした地域経済活性化と区民支援

自由民主党議員団

区民の安全・安心な生活環境を守るための安定した区政運営

区政の現状と将来展望

問 区長は現在の区政の状況についてどのような認識を持って区政運営に当たっているのか。

答 物価上昇に賃金の伸びが追い付かず区民生活の負担感は増しているものと認識している。区政を取り巻く課題は複雑多様であり、今後とも、生成ＡＩなど新たな技術なども取り入れながら時代のニーズを先取りしつつ、区政運営に当たっていく。

※他の質問項目　今後の選挙　など

農地の保全

問 今後の農地の保全・活用にどのように取り組んでいくのか、見解を伺う。

答 農地の保全については、農業者に対する各種補助を行うほか、貸し手と借り手の条件に合わせたマッチング支援を行うなどの取り組みを始めた。また、従来作られてきた農作物に加え新たな品目に挑戦する農業者も増えている。これらの新しい挑戦や、利益につながる栽培方法などへの支援も含め、関係者と意見交換を行い農地の保全・活用を進めていく。

区内の農地

※他の質問項目　区有地の活用　など

放課後事業の在り方

問 将来的な児童数や学童保育に対する需要予測を踏まえ、学習センターや校庭を開放して放課後等の過ごし方についても充実させ、安心して子どもたちが過ごせる空間を創出してほしいと考えるが、見解を伺う。

答 関係部署や学校、関係団体と具体的な方法について検討を深めていく。

※他の質問項目　待機児童解消　など

環境衛生対策、特に区内の食品衛生対策

問 食品関連の事業者に対し、最新の衛生知識の提供や害虫対策、施設の適切な管理方法など、変化する状況に対応するための定期的な研修や情報提供が不可欠だと考えるがどうか。

答 食品衛生協会など関係団体と連携しながら支援をしていく。

※他の質問項目　小規模店舗への支援など

民泊

問 民泊や旅館業など宿泊施設に関連する近隣トラブルの未然防止や悪質な事業者に対する指導について、条例を定め強化すべきと思うがどうか。

答 民泊事業に関しては区独自の条例を制定し、旅館業については条例改正を含め実効性のある対策を検討する。

※他の質問項目　事業者との連携による観光振興　など

亀有地域のまちづくり

問 亀有駅北口は再開発を待つのではなく、改善できるところから着実に取り組むことが重要だと思うがどうか。

答 駅周辺の土地利用の動向に注視しながら、区民参加による街づくり支援制度をより使いやすく見直すなど、引き続き地域の皆さまをはじめ関係機関などとも課題の共有を図りながら改善に向けて検討を進めていく。

※他の質問項目　西亀有地域のデマンド交通　など

今後の安定した財政運営と決議で求めた全容解明について

新総合庁舎の整備と今後の安定した財政運営

問 今後、新総合庁舎整備をはじめ、公共施設の長寿命化などの経費の増加は避けられない。中・長期にわたる財政計画を作成し、議会に示すべきと考えるが、区長の見解を伺う。

答 社会経済状況が大きく変化している中で、将来の収入や支出を見積もり、中・長期にわたる財政計画を作成することは、困難であると考えている。こうした中でも、さまざまな施策を着実に推進していくため、積立基金や起債の活用など、今後の財政運営の考え方をまとめた財政運営方針の策定について検討していきたい。

※他の質問項目　実施計画の財政フレームの見直し　など

バルサアカデミー葛飾校に関わる決議で求めた全容解明

問 東金町運動場の優先利用についての今後の方針は、区民第一を踏まえ、どのように考えているのか伺う。

答 今後、東金町運動場だけでなく体育施設全体の利用の在り方について改めて検討し、体育施設をより有効に活用した区民スポーツのさらなる活性化を推進していく。

※他の質問項目　調査体制　など

区民の生命と財産を守る防災・減災対策の強化

問 今後、防災訓練に外国人住民の参加を促すための工夫や、訓練を通じて相互理解を深める具体的な取り組みを進めていく必要があると考えるが、区の見解を伺う。

答 地域のイベントや交流事業に外国人住民の参加を促すなど、双方の関係性の構築に向けた支援を継続し、共に災害に立ち向かえる災害に強いまちづくりにつなげていく。

※他の質問項目　住宅用消化器の設置率の伸び悩み　など

いじめ、不登校、自殺対策

問 発見が難しいネットいじめや、児童・生徒間の力関係・人間関係の中で行われる関係性のいじめに対応するための区の現状の取り組み、課題、今後の方向性を伺う。

答 道徳科の授業を中心に、いじめは許されないことなどを指導している。今後の課題は、児童・生徒がＳＯＳを発信しやすい仕組みづくりや心や体調の変化に児童・生徒自身や教員が早期に気付き、相談につなげていける取り組みを充実させることと考えている。１人１台タブレット端末の活用も含め、検討を進めていく。

※他の質問項目　いじめ、不登校の発生件数の現状　など

お花茶屋のまちづくりと区内商店街振興

問 区内の商店街は、空き店舗の増加をはじめさまざまな課題があるが、今後、商店街支援にどのように取り組んでいく考えなのか伺う。

答 商店街への補助などの支援だけではなく、本区の観光、地域振興などさまざまな分野における地域の取り組みとの連携も調整し、商店街運営の課題に対する支援を強化する。

※他の質問項目　新ビジネスに挑戦する場としての空き店舗の活用　など